

大阪経済の情勢（2026 年 6月指標を中心に）

「大阪経済は、一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している」

需要面では、個人消費は、持ち直している。百貨店・スーパー販売額、コンビニ販売額、新車販売台数は増加。家電販売額は減少。家計消費支出（近畿；5月）は増加。投資は、持ち直しの動きがみられる。住宅投資は増加、非居住用建設投資は減少。公共投資は減少。輸出は、持ち直しの動きがみられる。輸出額は増加。主要国向けでは、すべての地域向けで増加。輸入額は増加。

供給面では、生産動向は、弱い動きとなっている。大阪府（5月）は、生産、出荷はともに上昇。近畿の生産（5月）は上昇。全国の生産（6月）は上昇。企業倒産では、件数、負債金額はともに悪化。雇用は、持ち直しの動きが弱まっている。近畿の失業率は悪化。有効求人倍率、新規求人倍率はともに上昇。所定外労働時間（5月）は低下。

先行きでは、中東情勢による経済への影響や、世界の経済・金融の動向について、引き続き注意が必要。

需要

	総合	消費				投資		貿易・観光	
	一致CI (大阪)	大型小売店 販売(大阪)	コンビニ 販売(大阪)	家電販売 (大阪)	新車販売 (大阪)	新設住宅着 工(大阪)	建築物着工 (大阪)	輸出 (近畿)	関空外国人 旅客
6月									
5月									

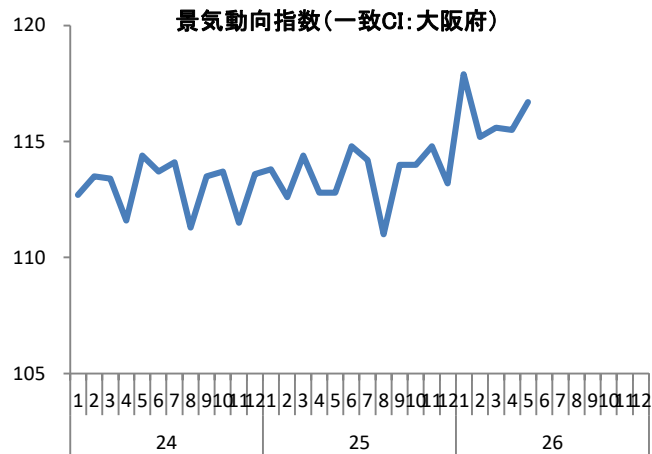
供給

	生産		倒産	雇用	
	生産指数 (大阪)	生産指数 (全国)	倒産件数* (大阪)	有効求人倍 率(大阪)	失業率* (近畿)
6月					
5月					

*前年同月と比較し、上向き矢印は「景況改善」、下向き矢印は「景況悪化」。ただし、一致CI、生産指数、有効求人倍率は季節調整済みのため、前月との比較。失業率と倒産件数は、減少・低下が景況改善となり、上向き矢印となる。

●景気動向指数(CI)

大阪府(5月)では、一致CI、先行CIはともに上昇。大阪府(一致CI)では、主に「人件費比率(製造業)」「製造工業生産指数」などが上昇に寄与。



(資料) 大阪産業経済リサーチセンター「景気動向指数」、内閣府「景気動向指数」 ※2020 年=100

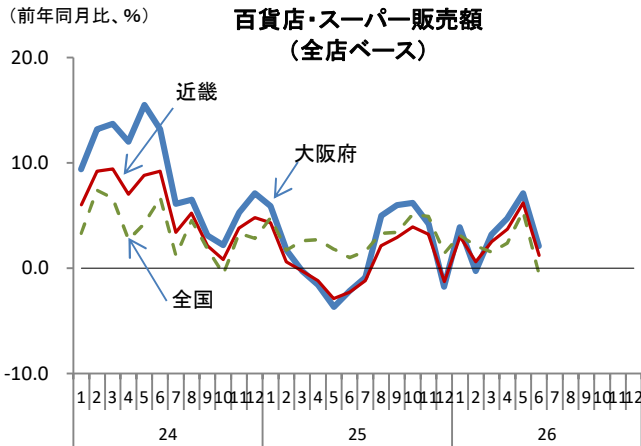
一致CIの個別系列の寄与度※（大阪府、5月速報）

百貨店売場 面積当たり 販売額	大阪税関 管内輸入通 関額	製造工業 生産指数	生産財 出荷指数	人件費比率 (製造業)	有効求人 倍率	所定外労働 時間指数 (製造業)
0.22	0.16	0.75	0.28	0.81	▲0.27	▲0.69

※CIの変化が、個別系列からどの程度もたらされたのかを示した数値。

●個人消費

個人消費は、持ち直している。百貨店・スーパー販売額、コンビニ販売額、新車販売台数は増加。家電販売額は減少。家計消費支出（近畿；5月）は増加。



(資料) 近畿経済産業局「百貨店・スーパー販売状況」

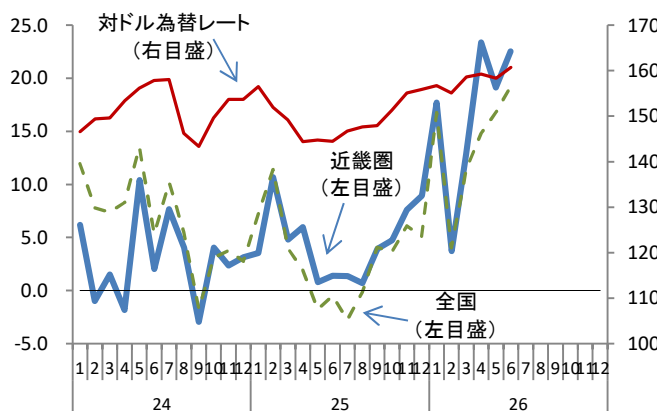
業態別の増減（大阪府、全店、前年同月比（%）、6月速報）

大型小売店 合計		2.1
うち	百貨店	3.9
	スーパー	0.0

●貿易

輸出は、持ち直しの動きがみられる。輸出額は増加。主要国向けでは、すべての地域向けで増加。輸入額は増加。

(前年同月比、%) 輸出額、対ドル為替レート (円/ドル)



(資料) 大阪税関「貿易統計」、日本銀行「時系列統計」 ※対ドル為替レートは、東京インターバンク相場、ドル・円、スポット、中心相場/月中平均。

主要地域(国)別の増減(近畿、前年同月比(%))、6月)

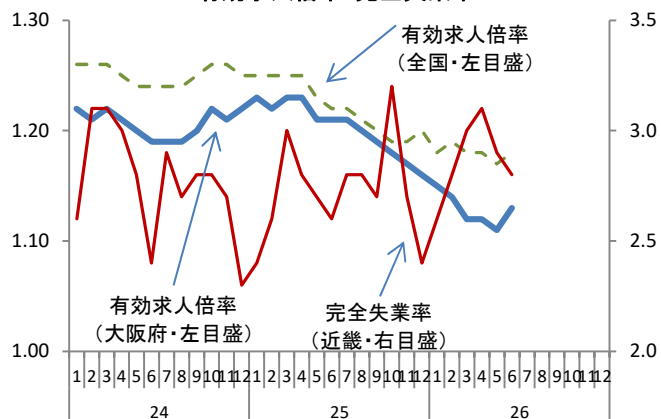
アジア(含む中国)	31.4	4ヶ月連続の増加
中国	33.6	4ヶ月連続の増加
ASEAN	23.3	6ヶ月連続の増加
EU	11.2	6ヶ月連続の増加
アメリカ	0.1	4ヶ月連続の増加

(資料) 大阪税関「近畿圏貿易概況・速報」

●雇用

雇用は、持ち直しの動きが弱まっている。近畿の失業率は悪化。有効求人倍率、新規求人倍率はともに上昇。所定外労働時間(5月)は低下。

(季節調整値、倍) 有効求人倍率・完全失業率 (原数値、%)



(資料) 厚生労働省「一般職業紹介状況」、総務省統計局「労働力調査」 ※近畿の完全失業率は原数値。

新規求人数の主要産業別増減(大阪府、前年同月比(%))、6月)

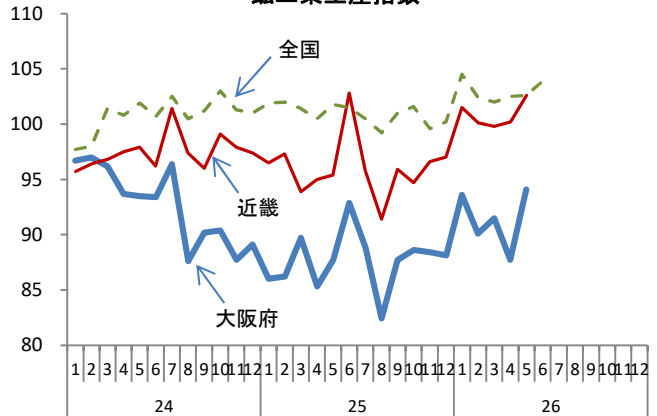
産業計	0.5
建設業	5.2
製造業	▲0.1
卸売業、小売業	▲3.4
宿泊業、飲食サービス業	▲11.9
医療、福祉	7.7

(資料) 大阪労働局「大阪労働市場ニュース」

●生産

生産動向は、弱い動きとなっている。大阪府(5月)では、生産、出荷はともに上昇。近畿の生産(5月)は上昇。全国の前(6月)は上昇。

(季節調整値) 鉱工業生産指数



(資料) 大阪府統計課「大阪府工業指数」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」 ※2020年=100。

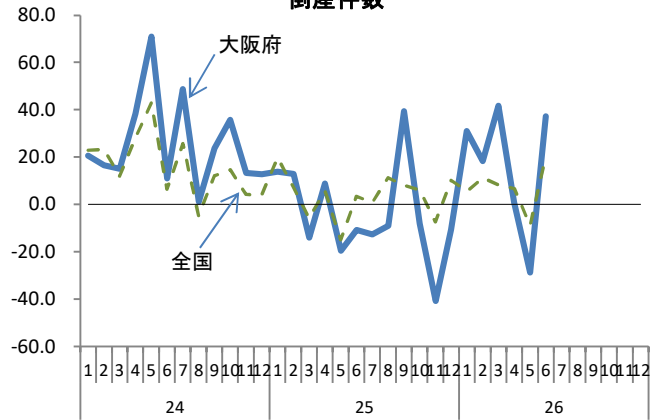
産業別の主な変動(大阪府、前月比(%))、寄与度順、5月速報)

上昇	石油・石炭製品工業 (51.2) : ガソリン、軽油 生産用機械工業 (13.7) : ショベル系掘削機械、化学機械
低下	プラスチック製品工業 (▲4.5) : プラスチック製フィルム・シート、プラスチック製機械器具部品 パルプ・紙・紙加工品工業 (▲5.5) : 段ボール原紙

●倒産

企業倒産では、件数、負債金額はともに悪化。

(前年同月比、%) 倒産件数



(資料) 東京商工リサーチ「倒産月報」

主な倒産(大阪府、6月)

業種	負債額(百万円)
障害者福祉サービス事業ほか	7,802
障害者福祉サービス事業ほか	7,427
障害者福祉サービス事業ほか	6,145
就労支援事業ほか	5,501